

山王網一色 ほっと通信

No.4

山王70区自治会

2025.7.1

小田原市

一人でも多くの人を助けたい！！ 地域防災の要・防災リーダー研修

小田原市は6月28日、地域防災の中核となる防災リーダーを対象にした研修を市役所に隣接する生涯学習センターけやきや駐車場などで行いました。研修は午前・

午後の2部制で行われ、249自治会から約120人が猛暑の中、駆けつけ“いざ”に備えました。内容は①毛布や上着を利用した担架作成と搬送方法②避難所の悩みを解決するマンホールトイレ、汚物を凝固剤で固めた後、リモコンでラッピング処理する簡易トイレ/ラップポン(今年度導入予定)③炊き出し用大釜「まかないくん」の操作方法④応急給水栓と放水ホースをつなぎ4カ所の吸水口から給水する応急給水方法⑤耐震性貯水槽(100トタンク)の取扱いなど。

参加者は、季節や時間(とき)を選ばない大規模災害の発生に気を引き締めていました。



水は命 耐震性貯水槽 100m³
1万人分の飲料水 確保

貯水槽には一人1日3ℓとして1万人の人が3日間使用できる飲料水が確保されています。

消火栓もついており、火災時には、約1時間40分の消火活動に使用できます。



◆ 長谷川博一防災リーダー 談

101年前の関東大震災で、山王網一色地区は、津波被害も火災発生もなかったこと

は、隣近所の絆によるところが大きい。しかし、建物倒壊による死者が約40人もおり、救助活動の充実に向けた資機材の点検整備を進めています。

大震災を教訓に一人でも多くの人を助けたい！

災害時に下水道管路のマンホール上に簡易な便座や個室を設置し、トイレとして利用するもの。



**衛生環境の確保
マンホールトイレ 着々**

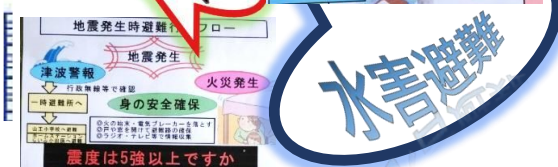
小田原市では、令和5年度2基、同6年度5基を設置。同7年度は3基を予定しています。

命を守る

行動フロー (保存版)

どうする？

地震発生



開校80周年 山王小学校

小田原市立山王小学校(釵持ゆか校長)は令和7(2025)年4月1日、開校80周年を迎えました。同校は昭和20(1945)年4月、酒匂分教場の47年、新玉国民学校分校の5年、通算52年を経て山王国民学校として誕生しました。80周年記念式は10月10日に開かれます。

開校15周年記念式典 (昭和35年11月1日)



山王小学校玄関前
(昭和37年3月ごろ)



いずれも『開校30周年記念誌』より

東町第2公園で本など燃える！

6月13日早朝、東町第2公園で本などを燃やす事案が起きました。

小田原署に通報し、駆け付けた署員が現場検証を行いました。

燃やしたのは、受験用の英語テキストなど数冊の本と分かりました。

パトロール強化 & 不審者監視



公園って 誰のモノ？



子育てママ&あかちゃん・親・子離れまでのひと時を愉しむ所

園児・児童・遊びの面白さや愉しさを体感する所

生徒・学生・勉強の合間に頭脳を休める所

働き盛りの人・忙しい自分自身を見つめ直す所

お年寄り・素の自分(童心)に帰れる心やすらぐ所

地域の公園は 心のオアシス

昭和56(1981)年に完成したプール入り口の壁面に描かれた「海の絵」が、ボランティアの手によって修復が進んでいます。夏休み前の完成を目指しています。

絵は、60周年記念(2005)当時の6年生が2年の国語に載っていた

「スミィ」の物語を

壁画に残したい、と

筆を執りました。



お盆 供養物 特別収集

ご先祖さまの霊を迎え、供養するお盆。供養物は、7月16日に自治会役員が整理を行いますので”指定場所”まで持参して下さい。

場所／東町児童遊園地内 特設場

日時／7月16日(水) 雨天決行



午前7時0分～同8時50分

お線香・お線香立て・さい銭箱は用意してあります。

